

「神のご計画の救いの確実さ」

ローマ8：29－30

堀田修一 23・10・15

「神は、あらかじめ知っている人たち（私たち）を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。神は、あらかじめ定められた人たち（私たち）をさらに召し（救いに招き）、召した人たちをさらに義と認め（罪の完全な赦し、御霊による新生）義と認められた人たちにはさらに栄光（栄化、救いの完成）をお与えになりました」29：30

I ここで確認すべき真理、教理は神が計画された「聖徒の救いの最終的堅忍、堅持」と呼ばれるもの。

1. それは「主を信じ真に救われ新しく生まれた者がみな神の力によって一生の間、守られるという真理」です。「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された（選ばれ、招かれ救われた）人たちのためには、すべてのことがともに働いて益（救いの完成に向かう主の姿への成長）となることを、私たちは知っています。神はあらかじめ知っておられる人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となられるためです。神は、あらかじめ定められた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認められた人たちにはさらに栄光をお与えになりました」；28－30。これらのみことばは、救いの確信の頂点です。29、30節で救いの一連のみわざと段階が語られています。救いの最初から最後まで完全に要約されています。29と30節は、28節の「神のご計画にしたがって」の説き明かしです。このみことばには、神の予知、神の予定、神の召命、義認、栄化という偉大な教理があります。これらはみな、神のご計画に含まれる一つ一つの要素です。

2. まず最初に自覚すべきことは、今、深く味わおうとしている真理は、途方もない大きな恵みであるということ。「憤みと恐れをもって」（ヘブル12：28）をもって味わいたい。恐れ多くも偉大な神の御思いと御計画を深く学ぼうとしています。この教理には、謙遜で畏敬の念に満ちた姿勢で取り組みたい。

3. すべてのことがともに働いて益となる、万事（苦しみ、試練も）が共に働いて（混ぜ合わされ、つながれて、組み合わされ）これまで常に益となり、今も益となりつつあり、今後も常に益となることが、確実なのは、すべてが、私たちについて神が抱いておられる偉大なご計画の中にあるからです。そのご計画、救いの段階と完成を8：28－30は明確に語っている。これこそ究極の救いの根拠、土台です。

Ⅱ 神の救いの確実さ、最終堅忍、堅持を示すみことば

1. 「神は、世界の基が据えられる前から、この方（キリスト）にあって私たちを選び、御前に聖なる、傷（心の罪、心の傷）のない者にしようとされたのです。神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました」エペソ1：4，5。この壮大なみことばの事実は、私たちの人知をはるかに越えています。神はアダムとエバが神に背いてから慌ててキリストによる救いを計画されたのではなく、世界の基を据える前から、キリストによる救いを計画し、生まれる前の存在の私たちを救いに選んでくださったのです。私たちの頭では計り知れない恵みです。神の先行的な選びがあって、私たちは主を信じ、神が愛してくださる神の子どもとされたのです。救いの壮大で栄光に富む神の御計画。感謝！

2. 「父がわたしに与えてくださる者（私たちが主を信じたのは御父が私たちを主に与えてくださったから）はみな、わたしのもとに来ます（主を信じます）。そして、わたしのもとに来る者を、わたしは決して（救い、神との交わりの）外に追い出したりはしません。…わたしを遣わされた方のみこころを行うためです。わたしを遣わした方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者（私たちを含む）を、わたしがひとりも失うことなく（迷う私たちを探し出し、ご自分のもとに戻される）、終わりの日によみがえらせること（主の姿への栄化、栄光のからだを与えられる。使徒信条「からだのよみがえりを信じます」）です。わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのち（神を深く知り続け、神と永遠に交わる幸いないのち）を持ち、わたしがその人を終わりの日（主の再臨の日）によみがえらせること（栄化）なのです」ヨハネ6：37－39

3. 「今持っているもので満足しなさい。主ご自身が『わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない』と言われたからです」ヘブル13：5。私たちは、この世にある限り、苦難、試練があり、人から見放され、見捨てられ、裏切られることがあります。しかし、主ご自身は、主を信じる私たちを決して裏切らず、見放さず、見捨てないお方です！ハレルヤ。感謝します。

4. 「神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました。また、朽ちることも、汚れることもない資産（救いの完成、新天新地の祝福）を受け継ぐようにしてくださいました。これらは、あなたがたのために天に蓄えられています。あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており（悪魔の力も罪の力も全能の神の力には勝てない。私たちは偉大な神の力に守られている）、終わりの時（主の再臨の時）に現わされるように用意されている救い（救いの完成、栄化）をいただくのです」Iペテロ1：3－5

5. 「あなたがたの間で良い働き（救い）を始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれ（救い）を完成（義認から聖化、聖化から栄化へ）させてくださると、私は確信しています」ピリピ1：6。

私たちの間で良い働き、救いを始められたのは、全能の神ご自身です。ですから、困難、苦難、試練、妨害、迫害があっても神は確実に救いの計画を進められ、すべての私たちの苦難等とともに働いてくださり益（主の姿への成長）とし、主の再臨の日が来るまでに神が計画された救いを完成させて下さいます。

6. 「他人（主ご自身）のしもべをさばく（あの人はもう駄目だと最終決定を出す）あなたは何者ですか。しもべが立つか倒れるか、それは主人（主ご自身）次第です。しかし、しもべは立ちます。主は、彼を立たせることができになるからです」ローマ14：4。主は、弱く、失敗の多い私たちを今日まで見捨てずに、そばにいて、立ち直されて来ました。これからも！ですから今は離れ気味の人々に対して、「あの人は主のもとに戻らない」と最終決定を下さず、霊的回復のために愛と信仰をもって祈り続けましょう。

7. 「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴なわれます。主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに 私を義（神のみこころにかなう真に正しい、救い）の道に導かれます。たとえ 死の陰の谷を歩むとしても 私はわざわざを恐れませんが ともにおられますから。」詩篇23：1-4。

祈り：私たちのための神の救いの御計画は確実なもので、主は主のもとに来る私たちを決して見放さず見捨てられない恵みを心から感謝します！